

令和4年度 第3回仙台市泉区区民協働まちづくり事業評価委員会 議事録

日 時：令和5年3月6日（月）

午後1時15分～午後6時30分

場 所：泉区役所本庁舎5階 510会議室

○出席者

・評価委員

岩動志乃夫委員長、佐藤重子副委員長、眞壁さおり委員

田中秀夫委員、林屋陽一郎委員

・事務局

泉区まちづくり推進課

1 開会

(1) 会議成立の報告

(2) 議事録署名委員について、佐藤委員を指名

2 令和4年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業 事業報告会 及び令和5年度 事業計画説明会【公開】

(1) 事業報告及び事業計画説明

各団体資料の通り説明。

(2) 質疑応答・意見等

① 団体名：桂音頭を踊り隊

<事業報告>

事業名：桂音頭リサーチ&トライアルプロジェクト

委員 小学校で桂音頭を教えていたとあるが反応はどうだったか。

説明者 今年度は4年生を中心に桂音頭を教えて運動会で披露したが、今年度は学年を分けて運動会を行っていたため、4年生と3年生しか桂音頭を見られなかった。来年度は学校全体で運動会を行う予定であるため、多くの児童や親に桂音頭を見て頂けるものとする。

(次ページに続く)

②団体名：NPO 法人地域生活支援オレンジねっと

＜事業報告＞

事業名：くらしの保健室事業

- 委員 課題と今後の展望に、住民当事者として今後どう取り組んだらいいのか非常に悩んでいるとあるが、来年度はどうしていくのか。
- 説明者 専門職の方を活用して地域の方々と社会をつなげる仕組みはないか経済的なつながりをつくれなかなど考えていきたい。
- 委員 印刷費が10万円ほどかかっているが冊子等を作製したのか。
- 説明者 先生方と勉強会を開催しており、その際に使用する資料の印刷代やインク代を含んでいる。冊子も作成予定であり、現在資料をまとめている。

③団体名：虹の丘安全安心まちづくり推進委員会

＜事業報告＞

事業名：新しい地域の防災まちづくり推進

- 委員 生活支援の現場に関わっていくにあたり、町内会として出来ることと出来ない事があると思うが、どこまで踏み込んでいくか考えはあるのか。
- 説明者 現在はそこまで話が進んでいない。新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者が家から出たがらない状況で住民の交流をどう増やしていくか考えているところであり、生活支援等の話はその後である。

④団体名：一般社団法人 みちのくフェスタ泉中央伊達な夏フェス実行委員会

＜事業報告＞

事業名：泉中央伊達な秋フェス～東北の地酒と創作料理と音楽～

- 委員 支出について、何にどれくらいの費用がかかっているか教えてほしい。
- 説明者 (各支出額について説明)
- 委員 アルバイトを雇っているが業務内容は。
- 説明者 新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけ、会場案内や誘導等である。

⑤団体名：百縁ひろばネットワーク

＜事業報告＞

事業名：豊齢社会での「集う場所づくり」とサロン活動応援

- 委員 出演料はいくらで設定していたのか。
- 説明者 ボランティアとして出演して頂いている。
- 委員 昨年度と今年度で受講者数に変化はあったか。
- 説明者 今年度は減少すると予想していたが、昨年度と変わらない受講者数であった。

＜事業計画説明＞

事業名：豊齢社会での「集う場所づくり」とサロン活動応援

(質問事項なし)

(次ページに続く)

⑥団体名：KAMURI コミュニティプロジェクト

<事業報告>

事業名：泉かむりの里「IZUMI コメフェス」プロジェクトで地域活性化
～泉区西部地区発アグリツーリズム構想～

- 委員 200名の来場を想定していたところ、実際は1,200名の来場があったとの事であるが、要因は何か。
- 説明者 チラシを根白石地区に配り、市政だよりや回覧板にあわせて広報してもらったほか、関係団体内でも周知してもらった。また、出店者がSNSを活用し広く広報したのも大きな要因と考える。
- 委員 来場者がどこから来ていたかなど、データはあるか。
- 説明者 アンケートで分かる範囲ではあるが、根白石地区のほか、太白区や宮城野区、他県からも来場があった。

<事業計画説明>

事業名：泉かむりの里「IZUMI コメフェス」プロジェクトで地域活性化
～泉区西部地区発アグリツーリズム構想～

- 委員 来年度は駐車場不足の問題にどう対策する予定か。
- 説明者 駐車場を増やすため、会場から離れた場所も借用する予定であり、そこから送迎バス等を出すことも考えている。

⑦団体名：SMILE FES 実行委員会

<事業報告>

事業名：SMILE FES

- 委員 企画費用はどのようなものに支出した費用か。
- 説明者 SMILE FESは子供達が友達同士だけで来ても無料で遊べることを目標としており、子供達がお財布を持たずに楽しめる場所を提供するための景品代や、リストバンド代が大半である。
- 委員 泉区からの助成金が全体経費の40%との事であるが、残りの60%はどこからきているのか。
- 説明者 マルシェの出展料等が60%を占めている。

<事業計画説明>

事業名：SMILE FES

- 委員 実施体制について、会員数が3名、残りはボランティアスタッフとあるが、どういった方々が協力してくれているのか。また、どれくらいの人
数で運営しているのか。
- 説明者 当日は5名ほどで運営している。その他本事業に参加したことがある高校生で本事業に興味を持った方から手伝いたいと申し出があり、手伝って頂いている。当日にお声がけして公募していることもある。

(次ページに続く)

⑧団体名：南中山中学校区住民活動サポートチーム「Mサポ」

＜事業報告＞

事業名：「南中山中学校区・地域の担い手育成事業」

- 委員 YouTube を活用したとの事だが、それに係る費用が殆どかかっていないのはなぜか。
- 説明者 高校生にボランティアとして手伝って頂いた。
- 委員 南中山の子供会が解散したことから、地域と子供をつなげる目的で本事業を立ち上げたとの事だが、どの地域も担い手不足が問題となっているが、何か対策はあるのか。
- 説明者 担い手とは違うが、本事業が地域に必要とされ、活用されていくことで自ずと地域の方々で続けていけるようになると考えている

＜事業計画説明＞

事業名：「南中山中学校区・地域の担い手育成事業」

- 委員 SNS を活用しているが何種類活用しているのか。
- 説明者 3種類活用している。
- 委員 SNS にはそれぞれ特徴があり、それに合った広報が必要だと思う。
- 委員 来年度は地域マルシェも行いたいとのことだが内容を教えてほしい。
- 説明者 「Mサポ」からの提案で、地域マルシェとコラボすることで事業を広げていきたいと考えていたが、本年度は時間がなく出来なかったため、来年度は実現したいと考えている。具体的な内容はこれからである。

⑨団体名：七北田宿研究会

＜事業報告＞

事業名：七北田宿の開宿 400 年記念イベント

「シニア・七北田宿まちなか健康ウォーキング」と講演会

- 委員 七北田宿を伝えていくにはどういった広報が必要か、七北田宿の価値を伝えていくにはどうしたら良いか考えはあるか。
- 説明者 冊子を2年間に9,000部作製し、2,000部を七北田地区の小中学校に配布し、その他要望があれば都度配布していた。今後も続けていきたい。また、新聞にも取り上げられており、今年度開宿400周年を迎えるにあたり、TV等にも取り上げられると、より広く伝えていけると考える。
- 委員 市民センター祭りや各地区のお祭りが今後始まっていくため、そういった場で広げていけると、若い世代にも認知されていくのではないかと。

＜事業計画説明＞

事業名：七北田宿の開宿 400 年記念イベント

「シニア・七北田宿まちなか健康ウォーキング」と講演会

- 委員 開宿400周年を迎えるにあたり、近隣の大学等と協力して事業をやっていく等、計画はあるか。
- 説明者 計画はないが、学生とフィールドワークなど行い若い世代にも七北田宿を知っていただく機会を増やしたいと考える。

(次ページに続く)

⑩団体名：特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン
＜事業計画説明＞

事業名：「つながろう～まなぼう～子育てママの居場所作り」

委員 仲間づくりの部分がこの事業では重要となってくると思う。そこを主として行う予定であるか。

説明者 その予定である。

⑪団体名：特定非営利活動法人エムケイベース
＜事業計画説明＞

事業名：Izumi 育む、Wakuwaku の出会い
～子ども、親、それぞれのコミュニティ創り～

委員 どこで開催する予定なのか。

説明者 泉中央の集会所を借用して開催する予定である。

委員 広報はSNSのみで行うのか。

説明者 現在はSNS だけだが、今後はチラシ等でも広報する予定である。

委員 対象の子供の年代はどの範囲を想定しているか。

説明者 未就園児、未就学児を中心として想定している。

⑫団体名：仙台ようこそその会 けやきひろば
＜事業計画説明＞

事業名：子育てママ応援！子どもと一緒に「気軽に」楽しむコンサート♪

委員 本助成事業に採択されなかった場合の代案はあるか。

説明者 泉区の企業や各スクールに営業を行っており、協力して頂ける見込みのため、規模は縮小するが事業自体は行う予定である。

委員 本事業は共感いただける内容であるため、クラウドファンディングの活用も検討して頂くのも良いと考える。

⑬団体名：仙台市松陵生活学校
＜事業計画説明＞

事業名：地域のイベントのための松陵おどり隊結成プロジェクト

委員 他に助成金をもらっているのか。

説明者 社会福祉協議会と全国生活学校連絡協議会からも助成頂いている。

(次ページに続く)

3 令和5年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業 選考評価【※非公開】

※公にすることにより、率直な意見の交換や意思決定の中立性が不当に損なわれるなどのおそれがあるため、非公開会議として実施した。

◇評価委員意見

①団体名：KAMURI コミュニティプロジェクト

事業名：泉かむりの里「IZUMI コメフェス」プロジェクトで地域活性化
～泉区西部地区発アグリツーリズム構想～

- (ア) どうしても根白石地区は農業のイメージからご年配の方が多くイメージがあるが、若い世代が中心となって活動していて、企画もかなり練りこまれている事業であるため助成すべきと考える。
- (イ) 一方、協賛企業が多く、助成を必要としないのではないかと感じる。

②団体名：南中山中学校区住民活動サポートチーム「Mサポ」

事業名：「南中山中学校区・地域の担い手育成事業」

- (ア) 全国的に子供会が解散する地域が増えていくことが予測されるため、こういった事業が子供会の代わりに増えていくことは需要があると感じる。

③団体名：七北田宿研究会

事業名：七北田宿の開宿400年記念イベント

「シニア・七北田宿まちなか健康ウォーキング」と講演会

- (ア) もっと若者と協力して事業を実施できるとより良いものになると考える。
- (イ) 昨年と事業内容が同じに感じるため、今年度はまた違った企画があっても良かった。
- (ウ) 開宿400周年という節目であるため、3年目の事業としてはちょうどよいと感じる。
- (エ) 冊子は、漢字が多く小学生には読むのが困難と感じる。ルビをふるなど子供が読むことを視野に入れても良かった。

④特定非営利活動法人エムケイベース

事業名：Izumi 育む、Wakuwaku の出会い

～子ども、親、それぞれのコミュニティ創り～

- (ア) 自己負担金がほとんどなく、助成金のみで運用しようとしている。
- (イ) 子育て世代がつながる場所は行政が中々手を出せないところであるため、良い事業に感じる。ホームページでの情報発信に力を入れており、広報面・実現性などかなり高いと感じる。

⑤団体名：SMILE FES 実行委員会

事業名：SMILE FES

- (ア) 七北田公園を会場として運営しており、地域活性化として良い事業に感じる。
- (イ) 助成金がなくとも運営していけるのではないかと感じる。
- (ウ) まちづくりという面では違う印象も受ける。

(次ページに続く)

⑥ 団体名：仙台ようこそその会 けやきひろば

事業名：子育てママ応援！子どもと一緒に「気軽に」楽しむコンサート♪

- (ア) 関係各所に相談することで企画等をより良いものにできると感じる。
- (イ) 予算は事業内容を考えると削減できると思う。
- (ウ) 事業が1回だけなので、継続してできる仕組みになると良い。

⑦ 団体名：百縁ひろばネットワーク

事業名：豊齢社会での「集う場所づくり」とサロン活動応援

- (ア) 広場、サロン、カフェの3つを行うことにより効果や理由などを明確にすると良かった。

⑧ 団体名：特定非営利活動法子育て支援アシスト・エフワン

事業名：「つながろう～まなぼう～子育てママの居場所作り」

- (ア) 行政機関等と協力して出来ることが多くあるため、関係各所と協力して頂ければより良くなる。
- (イ) 若い親世代にどうアプローチするのが課題である。

⑨ 団体名：仙台市松陵生活学校

事業名：地域のイベントのための松陵おどり隊結成プロジェクト

- (ア) 伝統を復活させて伝えていくというのは良いと考えるが、事業内容は本助成事業の趣旨とはずれているとも考える。

4 閉会